

債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー



南アフリカ



インドネシア



インド

市場概要・見通し（カナダ、ブラジル、メキシコ）

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		9/7 (8/31との比較)	9/7 (8/31との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
カナダ 	AAA	2.29% (+0.06)	84.36円 (▲0.96%)	+1.9% 2018年2Q	1.50%	中銀は金融政策決定会合で政策金利の据え置きを決定。一方で、雇用ネット変化率は市場予想を大幅に下回る結果となったことなどから、カナダドルは対円で下落。国債利回りは上昇。	住宅着工件数などが発表予定。NAFTA（北米自由貿易協定）再交渉合意に向けた交渉が続いており、合意に至るかは要注目。債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を想定。
	Aaa	 金利横ばい	 為替	 景気安定	 利上げ局面		
ブラジル 	BB-	10.67% (▲0.01)	27.37円 (▲0.05%)	+1.0% 2018年2Q	6.50%	発表されたIPCAインフレ率は市場予想を下回る結果。大統領選挙の候補者ボウソナロ氏が選挙運動中に刺されるなど、不透明感が拭えないことから、レアルは対円で下落。国債利回りは小幅低下。	小売売上高などが発表予定。10月に予定されている大統領選挙をめぐる各候補者の動きには要注目。引き続き、大統領選挙をめぐる不透明感が強く残っていることから、債券・為替市場はともに上値の重い展開を想定。
	Ba2	 金利横ばい	 為替	 景気回復	 据え置き局面		
メキシコ 	A-	7.99% (+0.12)	5.75円 (▲1.20%)	+2.6% 2018年2Q	7.75%	発表されたCPI（消費者物価指数）や、消費者信頼感指数は市場予想を上回る結果。一方、新興国全体に対するセンチメントの悪化などから、メキシコペソは対円で下落。国債利回りは上昇。	鉱工業生産や製造業生産などが発表予定。NAFTA再交渉において、米国とは合意に至っているものの、カナダとは引き続き協議が続いていることから、行方には注目。債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を想定。
	A3	 金利横ばい	 為替	 景気安定	 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
- ※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		9/7 （8/31との比較）	9/7 （8/31との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	2.55% （+0.03）	78.87円 （▲1.19%）	+3.4% 2018年2Q	1.50%	中銀は金融政策決定会合で政策金利の据え置きを決定。また、発表されたGDP（国内総生産）は市場予想を上回る結果となったものの、日米貿易問題をめぐり米ドル円が下落、豪ドルも対円で下落。国債利回りは上昇。	消費者信頼感指数や雇用者数変化などが発表予定。トランプ米大統領が中国に対して追加関税を発動するかなど、世界的な貿易摩擦激化に対する不透明感などから、為替市場は下値を探る展開を想定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利上げ局面		
ニュージーランド 	AA+	2.52% （▲0.01）	72.53円 （▲1.37%）	+2.7% 2018年1Q	1.75%	交易条件指数や商品価格などの経済指標はまちまちの結果だったものの、ニュージーランドドルへの影響は限定的。円が大半の通貨に対して上昇したことなどからニュージーランドドルは対円で下落。国債利回りは小幅低下。	製造業PMI（購買担当者景気指数）や食料品価格などが発表予定。海外市場に影響を受けやすい環境ではあるものの、当面金融政策は据え置きが想定され、為替市場は一進一退の展開を予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.80% （+0.05）	13.14円 （▲0.78%）	+3.3% 2018年2Q	0.50%	製造業PMIは強い結果となり、經常収支も前回比で黒字が拡大した一方、鉱工業生産はやや弱めの結果。市場のリスクオフムードを受け、ノルウェークローネは対円で下落。国債利回りは上昇。	CPIやPPI（生産者物価指数）、GDPなどが発表予定。中銀は、9月の利上げの可能性が高いと声明文で言及しており、補強する材料となるかどうかに注目。債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
- ※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		9/7 (8/31との比較)	9/7 (8/31との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
南アフリカ 	BB+	8.58% (+0.15)	7.28円 (▲3.72%)	+0.4% 2018年2Q	6.50%	発表されたGDP（前期比）が市場の予想に反して、2四半期連続のマイナス成長となり、2009年以降のリセッション（景気後退）に陥ったことから、ランドは対円で下落。国債利回りは上昇。	製造業生産や小売売上高などが発表予定。4-6月期のGDP（前期比）がマイナス成長となり定義上の景気後退となる中、経済指標には注目。貿易戦争への懸念などから債券・為替市場はともに上値の重い展開を予想。
	Baa3	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
インドネシア 	BBB-	8.41% (+0.43)	0.74円 (▲0.98%)	+5.3% 2018年2Q	5.50%	外貨準備高は、ルピア安を阻止するため、中銀が為替介入を実施したことなどを背景に、7カ月連続で減少。海外投資家の債券売買フローが大幅に純流出に転じたことなどから、国債利回りは上昇。ルピアは対円で下落。	特段重要な経済指標等の発表はなし。足元のマーケットは米中の貿易戦争、トルコ情勢など外部要因に影響を受けやすい展開が予想される中、為替市場は中銀により支援されることなどから、底堅く推移する見込み。
	Baa2	 金利上昇		 景気拡大	 利上げ局面		
インド 	BBB-	8.10% (+0.09)	1.55円 (▲1.09%)	+8.2% 2018年2Q	6.50%	発表された経常収支は市場予想を上回る結果。新興国市場全体に対するセンチメントの悪化などから、インドルピーは対円で下落。原油価格が上昇したことなどから、国債利回りは上昇。	CPIや貿易収支、鉱工業生産などが発表予定。インドは原油の輸入に大きく依存するため、原油の動きには注意が必要。為替市場は上値の重い展開を想定。
	Baa2	 金利上昇		 景気回復	 据え置き局面		

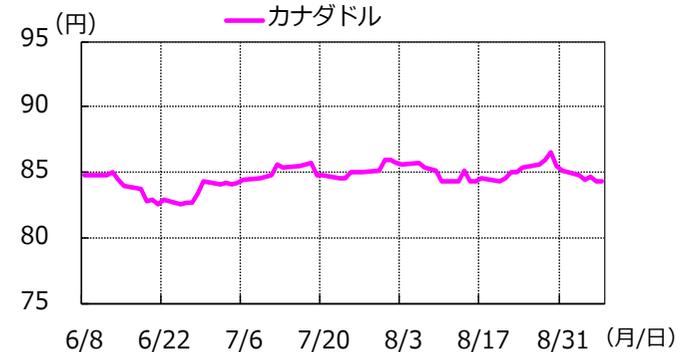
出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 国債利回りを表示（南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。
- ※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/6/8～2018/9/7

カナダ



ブラジル



メキシコ

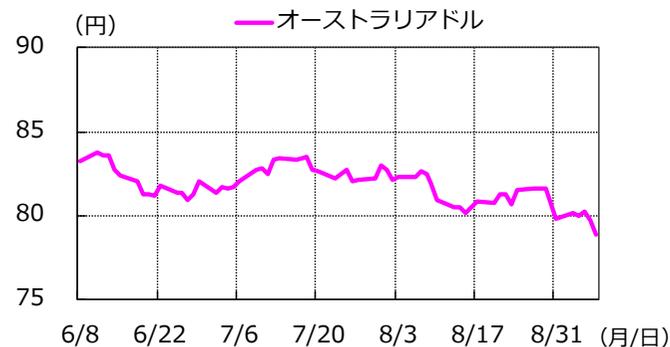


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/6/8～2018/9/7

オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー



※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/6/8～2018/9/7

南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。